

知識が中心となる時代に求められる「七領域の知識」

『ドラッカー入門・万人のための帝王学を求めて』上田惇生

〔Ⅰ〕 読み書きに関する知識

〔Ⅱ〕 コンピュータに関する知識

〔Ⅲ〕 外国語に関する知識

〔Ⅳ〕 マネジメントの知識

〔Ⅴ〕 自らの専門領域についての高度な知識

〔Ⅵ〕 他の専門領域の意味性についての知識

〔Ⅶ〕 自らをマネジメントするための知識

※知識が中心となる社会における教養とは、読み書きに加えてコンピュータ、外国語、マネジメントの知識、自らの専門領域についての高度な知識、その他の専門領域の意味性についての知識、そして自らをマネジメントするための知識をもつことである。『ドラッカー入門』